大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

平成３０年度　学校通信　平成３１年２月２２日　No.３３

小学6年生一日体験入学

２月13日には、西仙北小学校６年生の一日体験入学を行いました。少しでも早く中学校生活に触れ、入学後のいわゆる「中１ギャップ」が起きないように、また、中学校生活への不安を取り除いて、夢や希望をもって、4月を迎えられることをねらいに、行っております。

当日は、オリエンテーション後に、早速中学校全学級の授業を参観してもらいました。また、事前に選択してもらった各教科の「体験授業」も、中学校１年生と一緒に行いました。続いて、生徒会執行部からの中学校生活の説明もあり、６年生からは疑問や不安に対する質問もありましたが、先輩たちが心配しなくてもよいという回答をしておりました。

給食を食べ、午後からは、ユニフォーム姿での部活動の紹介がありました。閉会式では、「中学校入学が楽しみになりました。中学校は堅苦しいイメージがありましたがそうではありませんでした。」という、感想をたくさんいただきました。期待を膨らませて、入学してくれることと思っております。

「柏の郷」に加湿器　寄贈

本校生徒会・ＪＲＣでは、アルミ缶回収等で得た収益金で、毎年、福祉施設等に、贈り物をしてきましたが、今年度は、社会福祉法人柏仁会「柏の郷」様に、加湿器を贈らせていただきました。

今年はインフルエンザが流行り、県内の福祉施設でも、その予防等にたいへん苦労しているようです。今回、本校が何か役立つものを贈りたいという申し出に、風邪等の予防を考え、加湿器がほしい旨が伝えられ、２月13日、小山田生徒会長、佐々木ＪＲＣ委員長が、担当職員と一緒に、「柏の郷」を訪問して、希望の品を届けてまいりました。

「柏の郷」の武藤施設長様からは、感謝と健康管理に役立てたいというお礼の言葉がありました。

「にしせんプロジェクト」チーフ会議

西仙北小・中学校では、九年間を見通して児童生徒を育てようという、大仙市教育委員会の方針を踏まえ、両校の教職員で「にしせんプロジェクト」会議を組織して指導に当たっております。

授業研究班、家庭学習班、ふるさとキャリア教育班にそれぞれに分かれ、教職員の実践の共通理解を図るとともに、一貫した指導を行ってきております。13日には、今年度の取組を振り返り、来年度の実践事項等を確認しました。地域の子どもたちを地域全体で育めるよう努めてまいりたいと思います。

大仙市海外派遣研修報告会

これも13日ですが、　１月に行われた大仙市教育委員会主催「中学生海外派遣研修」の報告会が、仙北ふれあい文化センターで行われました。

大仙市内中学校20名の報告会で、本校からは２年生の菊地君と佐々木さんが参加、報告しました。

二人は、「観光客を増やすためにはどうするべきか？」、「大仙市の伝統行事と魅力を日本・世界に広めるためにできることは何か？」という、それぞれの研修テーマについて、その成果を発表するとともに、ファームスティや観光地でのエピソード語りました。緊張もあったようですが、堂々とした発表ができました。お疲れ様でした。

1・2年生スキー教室

２月15日、１・２年生が協和スキー場において、スキー教室を行いました。雪国秋田の地域性を生かし、ウインタースポーツを経験して、生涯にわたる豊かなスポーツライフの構築の一助になることをねらいに行っております。

当日は、西仙スキークラブ員や協和スキー学校職員、そして保護者ボランティアの皆さんのご協力、ご指導を賜り、生徒たちはたいへん楽しく滑走できました。おいしいカレーライスもいっぱい食べ、天気にも恵まれ、雪国の楽しさを満喫できた一日でした。

初めてのスキー体験をした加藤さんやタイからの留学生の二人も、あっという間にスキーに慣れ、楽しみながら滑っておりました。ソリやスクードチームの皆さんも嬉々としておりました。

ご指導いただいた皆様、ありがとうございました。お疲れ様でした。

平成30年度学校評議員会

２月14日には、平成30年度第２回学校評議員会を開催しました。

真田評議員、田村評議員、佐藤評議員、小山田評議員の皆様には、各学級の授業を参観していただくとともに、校長等からの今年度の総括を聞いていただき、今後及びこれからの学校経営等にご指導ご助言を賜りました。

「統合直後とは違い、生徒及び職員に一体感がみられる。教室に入った時の雰囲気が温かい。地域連携や生徒たちのボランティア活動、地域貢献活動が評価されてきている。授業中の揶揄等がなく自然な学び合いができ、発表力が育ってきている。スクールバスの乗降や横断歩道での感謝の立ち礼の姿がすばらしい。」などのお褒めの言葉をいただきました。小学校で躾けられた、望ましい姿を中学校でも継続できるようにするとともに、やはり、本分である学力の保障にしっかり取り組みたいと考えております。また、いじめ問題等においては、見えない部分にも気を配れるような指導体制で臨みたいと思います。話題としては大綱引きやＨＵＢスペースの活動、戦争遺跡の研究等にも及びました。貴重なご助言、ご指導、誠にありがとうございました。

受検生激励集会！

20日は、公立高校の志願先変更期間終了日でしたが、朝の定例集会において、１・２年生が受検生である３年生の激励集会を行いました。

まず、始めに生徒会執行部が手作りした合格祈願のお社及びだるま、並びに１・２年生全員と本校全職員のメッセージが披露されました。お社とだるまは、受検生全員の合格を願う気持ちを込めて丁寧に作ったそうです。また、一人一人のどのメッセージも、これまでの３年生の導きに感謝するとともに、希望進路の実現を願う温かい言葉が綴られております。こうした生徒会の取組が、本校生徒の望ましい人間関係を構築しているのだと思いました。

小山田生徒会長の激励の言葉の後には、３年生各学級の代表である小山君と三浦君に学級用の合格祈願だるまが贈られ、二人は、それぞれ「受検日までもう少しですが、焦らずに、自分のもっている力を発揮できるように努めます。激励、ありがとうございました。」と、決意と感謝の言葉を述べました。がんばれ！　光輝学年！！

2年家庭科ゲストティーチャー

本校家庭科の学習では、地域の人材や市役所職員等を積極的にゲストティーチャーとしてお迎えして学習を深めています。今回は、市役所の環境交通安全課廃棄物班の佐々木さんと茂木さんを講師に、「めざせ！　かしこい消費者」の学習をしました。

これは、買う前に捨てる時のことも考えてみようということで、実際のゴミの分別や「食品ロス」などについて考え、消費生活と環境問題について深く学んでいました。ぜひ、家庭でゴミの分別を担当させてみてください。しっかりできるはずです。